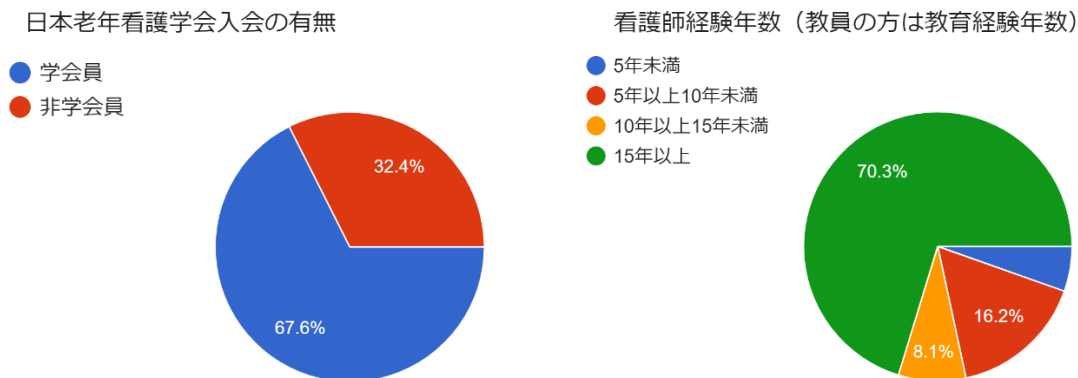


一般社団法人日本老年看護学会
2023年度 生涯学習支援研修（基礎編）報告書

1. 開催日時 : 2024年3月2日(土) 13時30分~16時 *終了時間 16:10
2. 開催形態 : オンライン (Zoom)
3. 参加者人数 : 57名 (会員 : 33名 非会員 : 24名)
4. 運営担当 : 宗像倫子 (聖隷浜松病院)、平松知子 (金沢医科大学)
5. 目的 : 入退院を繰り返しながら徐々にADL,QOLが低下していく高齢心不全患者の最新医療と多職種連携による看護実践を学び、患者中心の医療・ケアの提供を考える
6. テーマ : 心不全高齢者のQOL-最新治療と多職種連携による看護実践-
7. プログラム :
 - ① 講義1「高齢者の心不全について考える～患者中心の医療から最新治療を考える～」
講師 : 下島正也 (金沢大学循環器内科 助教)
 - ② 講義2「高齢心不全患者の病態と看護のポイント」
講師 : 牧美晴・山口亜矢 (心臓血管センター金沢循環器病院/慢性心不全看護認定看護師)
 - ③ 実践事例の紹介
 - ・長期入院となった末期心不全患者の一時帰宅に向けた多職種連携
発表者 : 山口亜矢 (心臓血管センター金沢循環器病院/慢性心不全看護認定看護師)
 - ・終末期心不全患者の意思実現への支援
～カテコラミン依存状態となった患者の一時外泊から在宅看取りまで多職種連携を通して～
発表者 : 牧美晴 (心臓血管センター金沢循環器病院/慢性心不全看護認定看護師)
 - ・重症肺高血圧患者においてICTを活用しスムーズな意思決定支援が行えた一例
発表者 : 浅瀬季予子 (訪問看護リハビリステーション OHANA 主任看護師)

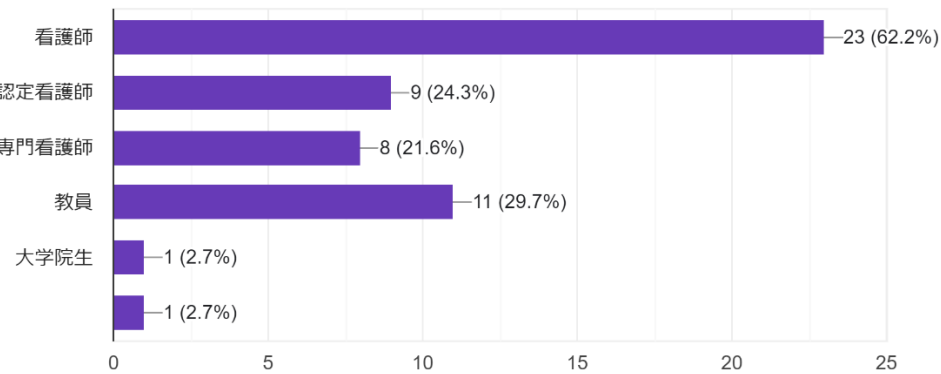
8. アンケート集計 (回収数 37 回収率 64.9%)

○回答者概要



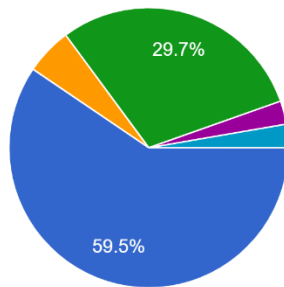
職種 * 複数選択可

37 件の回答



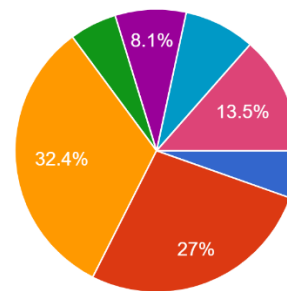
現在の勤務先

- 一般病院
- 介護施設
- 訪問看護ステーション
- 教育機関
- デイサービス
- 日本看護協会



今回の研修をどのように知りましたか

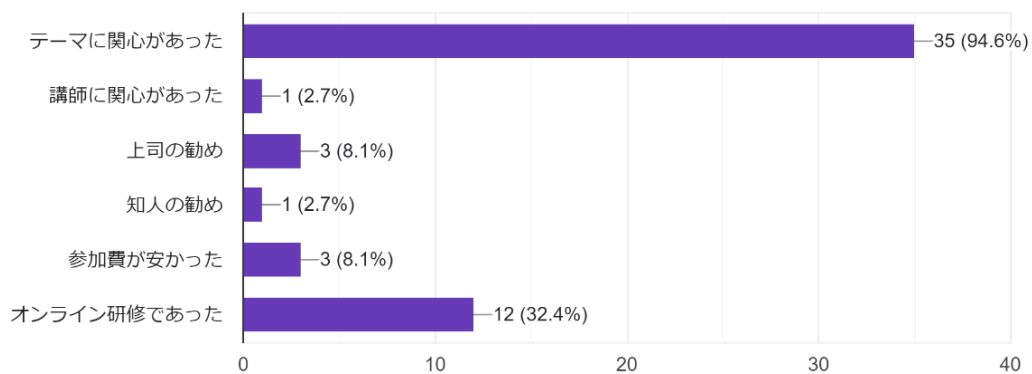
- ポスター
- ホームページ
- 学会からのメール
- ニュースレター
- 上司の紹介
- 同僚の紹介
- 学会関係者の紹介



○内容について

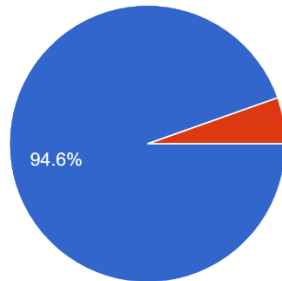
受講動機について * 複数選択可

37 件の回答



開催時期について

- 良い
- 悪い



○開催時期について選択理由

<良い> 35名 94.6%

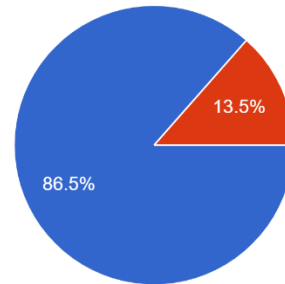
- ・業務に余裕がある時期だったから
- ・休みの日だった
- ・土曜日で参加しやすい
- ・悪いと思わなかった
- ・ZOOM でしたので、参加しやすかった
- ・大学の春季休業中で比較的時間に余裕がある
- ・年度替わり前でいい
- ・新年度の前で少し余裕がある時期だから

<悪い> 2名 5.4%

- ・年度末は研修が混んでいるため
- ・年度末で施設やでない方がいたかも

開催時間について

- 良い
- 悪い



○開催時間について選択理由

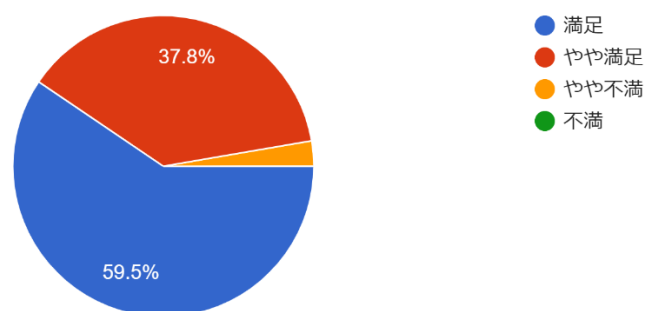
<良い> 32名 86.5%

- ・ちょうど良いと思ったから
- ・1日となると気合いを入れられないといけない
- ・午後からで参加しやすい
- ・都合をつけやすい時間でした
- ・仕事や家庭での用事の調整がしやすいため
- ・どの先生のご講演も大変貴重なご講演でしたので、もう少し長い時間設定でお聞きできたら良かったと思いました
- ・もう少し時間が欲しかったです。できれば、演者は画面で映していただきたかったです。

<悪い> 5名 13.5%

- ・ディスカッションが短く残念でした。基礎知識のための基礎編と事例やあるあるな困りごとのディスカッションをする実践編などに分けていただけると嬉しいです。
- ・もう少し時間が欲しかったです
- ・心不全の基礎知識部分を学ぶにあたり、もう1時間長くてもよかったです
- ・内容に比較して、時間が短いと感じたため

研修の内容について、今後の看護に活かせるような満足感を得られましたか
37件の回答



○選択した理由

満足 (22名 59.5%)

- ・医師が治療だけでなく、患者の生活や高齢者の特性を考えていることがよかった。看護や他職種との協働、連携がしやすいと思う。このような医師が増えて欲しい。
- ・心不全高齢者を地域で支える仕組みづくりをしたいと考えていたので、石川県の地域連携パスはとても参考になりました。
- ・心不全高齢者の QOL は興味がある分野でした。治療から複数の事例、大変に参考になりました
- ・心不全の高齢者が多く最新治療や ACP など参考になりました
- ・心不全の治療や看護について、広い視点で講義があったため。時間をもう少しゆとりを持ってもらっても良かったように思います。
- ・今まで心疾患に苦手意識がありましたが、高齢者に多い心不全について学びたいと考え参加させていただきました。具体的な治療や予後、看護ケア、そして ACP、多職種連携と非常に多くの学びを得ることができました。どのような場面においても高齢者の意思を捉える事が重要だと思いました。当院においては、循環器、心臓血管病棟の看護スタッフの「心不全は治療すると良くなる」という認識で、手術やカテーテル治療以外の心不全をもつ高齢者へのスタッフの関心が低い状況にあります。予後予測が難しい中でも、ご本人の QOL を考えて多職種で共通意識をもつことで最期まで支援できるよう学びを深めたいと思います。貴重なご講演をありがとうございました。
- ・院内多職種、そして地域の多職種が心不全をもって生活する高齢者への関わりの実際を学ぶことができました。心不全をもつ患者さんへの ACP として取り組まれていることも学べましたので、自施設での取り組みにも生かしたいと思いました
- ・下島先生の話は、わかりやすく聞けました。また、事例がありとても参考になりました。

やや満足 (14名 37.8%)

- ・学部学生の実習指導において、心不全高齢者を担当することが増えてきており、最新の知識と慢性心不全認定看護師が行う実践を知りたいと思ったため。
- ・治療や看護全般に学習することができ、臨床で活かしたいと思います。 ありがとうございます

ました。

- ・最新治療について知りたいと考えたからです。
- ・前半の講義は緩和ケアの話まで幅広い内容を分かりやすく講義してくださり、後半の事例検討も充実した内容でした。もう少し深掘りしたいことがあったので、ディスカッションの機会がもう少しあったらなと思いました
- ・ボリュームが多く時間がタイトであったため
- ・勝手ながら、基礎的な内容よりも実践的な内容を期待してしまったためです

やや不満 1名 (2.7%)

コメントなし

○今後取り上げて欲しいテーマ

- ・高齢者施設での看取りについて
- ・高齢者患者の人工呼吸器装着について。
- ・食べなくなった高齢者の関り
- ・心不全と地域連携：クリニック NS との連携促進
- ・多職種、地域連携
- ・ディスカッションでも出たような、例えば、訪看と医師との連携が難しいとか、緩和ケアについての認識が異なるチームでその溝をどう埋めて連携していくかなど、あるあるな困りごとを学べると嬉しいです。
- ・高齢者の糖尿病、脳卒中、うつ
- ・認知機能低下のある心不全患者さんのセルフモニタリングや ACP などの続編をお願いします
- ・呼吸器疾患高齢者 QOL について